

記載上の注意

1 「遺族の氏名（生年月日）」の欄

- (1) 戦没者等の死亡の当時における戦没者等の配偶者（事実上の婚姻関係にあった者を含む。）、子、父母、孫、祖父母、入夫婚姻による妻の父母及び兄弟姉妹の全員について、令和2年4月1日現在（同日前に死亡している者は死亡の日）の氏名及び生年月日を記載してください。なお、戦没者等の死亡の日前に養子に行った者及び婚姻した者等についても記載してください。
- (2) 上記(1)の遺族以外の三親等内の親族が請求する場合は、その全員についても同様に記載してください。
- (3) 1(3)上記(1)及び(2)の遺族のうち、令和2年4月1日以後に死亡した遺族がいる場合は、その相続人についても記載してください。相続人が請求する場合は、同順位者の相続人全員についても同様に記載してください。

2 「戦没者等との続柄」の欄は、戦没者等との続柄を「長男」「弟」「叔母」「甥」「兄の妻」のように記載してください。

3 「戦没者等との生計関係」の欄

- (1) 戦没者等が死亡した当時において、戦没者等と生計関係があったものは「有」を、生計関係がなかったものは「無」を○で囲んでください。
 - (2) 上記1の(2)に該当する遺族であるときは、戦没者等の死亡の日まで引き続き1年以上戦没者等との生計関係があったか否かについて、あったときは「有」を、なかったときは「無」を○で囲んでください。
- ※ (1)、(2)のいずれも、戦没者等が軍人、軍属、準軍属とならなかったならば、戦没者等と生計関係があったと推定される場合が含まれます。

4 「遺族の令和2年3月31日までの状況」の欄

- (1) 「死亡・国籍喪失・離縁により戦没者等との親族関係が終了しているとき」の欄は、令和2年3月31日までにいずれかに該当するときは、該当事項を○で囲み、その事実が発生した年月日を記載してください。
- (2) 「左記以外のとき」の欄は、上記(1)に該当する事項がなかった場合のみ、次の例にしたがって記載又は該当事項を○で囲んでください。

(例) 「昭 ○年○月○日 遺族以外の○○○と婚姻（昭 ○年○月○日 離婚）」
「平 ○年○月○日 遺族の○○○と養子縁組（平 ○年○月○日 離縁）」